

2015年度 環境活動レポート

2015年1月1日～2015年12月31日



発行 2016年 1月 20日

HMS 株式会社 阪神鍍金精工所

〒651-2228

神戸市西区見津が丘5丁目2-3

TEL 078-998-1650

FAX 078-998-1660

環 境 方 針

株式会社阪神鍍金精工所は、めっき業界の一翼を担う会社として地球環境を経営上の重要問題の一つと認識し、達成すべき環境目標を設定し、地球環境の保全と汚染の予防を含めた、継続的改善に努めます。

- 1 環境法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2 二酸化炭素排出量削減のため、エネルギー効率(電気・ガス・軽油)を重視した機器の採用を推進します。
- 3 廃棄物の発生を抑え、リサイクル化を推進します。
- 4 排水量削減のため、効率的な利用及び節水に努めます。
- 5 薬液の使用、適正管理を行ない化学物質使用量削減に努めます。
- 6 環境に配慮した物品の購入を推進します。
- 7 有害性化学物質の代替品使用を推進します。
- 8 この方針は、全従業員の教育、訓練により周知徹底するとともに、一般にも環境レポートとして公表します。

制定日 2012年 6月 1日
改定日 2015年 6月 1日
株式会社 阪神鍍金精工所
社 長 樽 谷 和 廣

□組織の概要

社名 株式会社 阪神鍍金精工所
 所在地 本社・工場 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目2番3
 TEL.078-998-1650 FAX.078-998-1660
 設立 1957年 7月
 資本金 3,000万円
 代表 代表取締役 榎谷 和廣
 事業内容 自動車・産業用部品、電装部品、通信機器、電機部品等の工業用めっき加工
 事業年度 6月～5月（但し活動レポート対象期間は1月～12月）
 従業員数 17人
 敷地面積 2,500㎡
 環境管理責任者：榎谷 和 廣 連絡先：TEL078-998-1650

□環境負荷の実績値

項目	単位	2015年 実績値	備考
二酸化炭素排出量 (電気・自動車)	Kg-CO2		2014年度審査にて指摘有り 都市ガスを含める
一般廃棄物排出量	Kg		
産業廃棄物排出量	Kg		
総排水量	m ³		

□環境目標とその実績

[データ記載期間は2015年1月1日～2015年12月31日]

項目	単位	年				
		2013年 基準年値	2014年 実績値(基準年)	2015年 実績値	2016年 目標値	2017年 目標値
二酸化炭素排出量削減(電気・自動車・ガス)	Kg-CO2	216,172	(257,549)		252,398	249,822
基準年値比	%	100	119		98	97
一般廃棄物排出量削減	Kg	257	241		249	247
基準年値比	%	100	93.8		97	96
産業廃棄物排出量削減	Kg	20,879	14,620		20,252	20,044
基準年値比	%	100	70.1		97	96
排水量削減	m ³	6,078	4,603		5,895	5,835
基準年値比	%	100	75.8		97	96
化学物質使用量削減(NaCN不使用) (14年5月～)基準年値比	Kg	32,915	30,080		31,928	31,598
基準年値比	%	100	91.4		97	96
グリーン購入(CP・PC用紙)	%	100	グリーン資材の調査・目標設定			
基準年値比	%	100	100		100	100
製品への環境配慮(不良率低減)	%	9.0	6.7		8.7	8.6
(不良金額/加工金額)基準年値比	%	100	75		97	96

(注) 二酸化炭素排出量削減項目に都市ガスを含めるため、この項目のみ2014年度を再基準年としました。

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2016年1月20日

取組計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組内容）	
電力による二酸化炭素排出量の削減			
● 生産工程の時間短縮	○	検討・強化	膜厚の再検討をし、めっき時間の10%短縮を図る
● コンプレッサーの圧力を低圧化	◎	継続	週に一度圧力チェックを実施している（コンプレッサー圧力チェックシート）
● めっき槽の過熱時間の短縮	△	検討・継続	保温材等検討し、過熱時間の短縮を図る
● 事務所・工場の電気（電灯・動力）の節電	◎	継続	作業中に必要のない機器の電源は切られていた 屋外灯の点灯時間を短縮した 12時間⇒4時間
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
● 公共交通機関の利用で社用車の使用削減	○	継続	営業、打合せ等の顧客様訪問時には電車・バスを利用し今後も使用削減をする
● エコドライブ等運転方法の配慮	○	継続	空運転・空ふかしはしない、アイドリングストップを心がける
● 更新時には低燃費車を選択	×	継続	今期の更新はなく、次期更新時には選択する（2015年3月）
一般廃棄物の削減			
● 分別の徹底	◎	継続	今期はまずまずの分別は出来たが来期は達成出来るよう努力する
● ごみの圧縮・減量	○	強化	今期はまずまずの分別は出来たが来期は達成出来るよう努力する
● 裏紙の使用	○	継続	PC・CPの裏利用90%達成、来期はこの他にME等別使用を検討する
● 包装資材の削減	○	強化	顧客様と相談をし、通箱を利用し包装資材の削減を図る
産業廃棄物の削減			
● 排水処理でのスラッジ削減	○	検討・継続	今後も薬品メーカー様と検討し、スラッジ削減を図る
● 再めっき品(不良品)の削減	○	検討・継続	社内不良を低減させ再めっきの削減に努める
水道水使用量の削減			
● 節水シール貼り付け・ポスター掲示	○	強化	事務所、トイレには節水シールが貼られたが、来期は工場にも貼る
● めっき液等の冷却水の循環利用	◎	継続	クーポンプを設置し完全に循環利用されている
● 漏水の定期的チェック	◎	継続	週に一度漏水チェックを実施している（漏水チェックシート）

◎：よくできた △：あまりできなかった

○：まあまあできた ×：全くできなかった

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2016年1月20日

取組計画	達成状況	評価 (結果と次年度の取組)	
化学物質(溶剤)の使用量削減			
● 表示の徹底	○	継続	使用中・保管中を識別できる表示をする
● 使用量の適正化	◎	継続	管理指示通りの使用がされていた
● 作業ミス(不具合品)による使用量増加の抑制	◎	継続	産業廃棄物の削減にもつながるので、今後も社内不良低減に努め化学物質使用量の増加を抑制する
● 代替え物質(溶剤)の利用	◎	検討・継続	今期はシアン化ナトリウム(NaCN)の使用を停止した その結果工場内には、シアン化合物は無くなりました
グリーン購入の推進			
● 有害性の少ない資材の購入	△	検討・継続	都度有害性の少ない資材を購入してきた、今後も検討・継続する
● コピー・パソコン用紙を再生紙に転換	◎	継続	100%転換した、今後もこれを継続する
製品への環境配慮			
● めっき不良の低減等効率化を図る	○	継続・強化	社内及び顧客様との検討により、過剰品質の見直し等を提案していく
● 再生資源の利用	○	継続	再生資源利用副資材の購入を推進している

◎ : よくできた △ : あまりできなかった

○ : まあまあできた × : 全くできなかった

□環境関連法規制等の順守状況

実施日：2016年 1月 20日

法規・条例	規制事項	担当部門	届出・点検・測定頻度	判定 (○×)
水質汚濁防止法	特定施設設置の届	排水処理部門	変更時毎	○
	排水基準の遵守と測定		自主2回/1ヶ月 届出1回/6ヶ月	○
下水道法	排水基準の遵守と測定	排水処理部門	排水管理報告 2回/1ヶ年	○
	排水の量・濃度報告			○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物	排水処理部門 製造部門	報告 1回/1ヶ年	○
	マニフェストの運用			○
	廃油・廃酸・めっき汚泥 その他			特管廃棄物量報告 1回/1ヶ年
毒物劇物取締法	毒物劇物取扱責任者選任	業務部門 製造部門	選任時の届出	○
	業務上取扱者選任			○
	毒劇物の保管に於ける表示			○
	盗難・紛失・流失の防止			薬品管理台帳
特定化学物質管理法 PRTR法	6価クロム化合物 ニッケル化合物 亜鉛化合物 MSDSの管理	排水処理部門 製造部門	特定化学物質管理届 (届出対象外)	/
大気汚染防止法	量・濃度規制基準遵守と測定 電解排ガス (6価クロム化合物)	製造部門	計量証明書 1回/1ヶ年(保管)	○
消防法	少量危険物貯蔵所の設置	製造部門	設置届	○

環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法規制の逸脱はありませんでした。

又、近隣住民様からの苦情、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間無く継続しています。

□代表者による全体の評価と見直し

2014年の環境活動は、各自がそれぞれの役割を概ね果たしたと思います。

その結果、環境目標を大幅に削減することが出来ました。

次年度(2015年)は生産効率を上げ、加工高を増加させることはもちろんですが、環境活動にこれまで以上に努力をし、二酸化炭素排出量・廃棄物量・水道使用量・化学物質使用量の削減とグリーン購入を推進し、製品への環境配慮にも努めてまいります。

これらの環境目標を社員一人一人が責任と自覚を持って実践してまいります。